

一般質問



合併10年の成果と市政構想

星野 安久 議員

質問 休日の窓口対応はどうなっているのか。合併前のように行政センターに日直を置く考えは。

企画部長 行政センターの日直業務を本年4月から廃止しました。大きな混乱はないと認識しており、今後も継続する予定です。

質問 市全体の商工業の発展とまちの活性化、生き残りの方策は。

商工観光部長 中心市街地の駐車場は、旧寄居町駐車場及び渋川駅周辺駐車場の設置について、地域や土地所有者と調整中です。

質問 道路管理体制も合併後不十分になった。賠償責任問題が増加している。今後の対応は。

建設部長 広報等で危険箇所の情報提供をお願いし、一人でも多くの皆さまから情報をいただき、迅速に対応したいと考えます。

質問 合併の合理性を生かし通学区域の緩和措置として、学校を択できる方法はとれないか。

学校教育部長 子どもたちと地域社会とのつながりを重視し、児童生徒の住所に基づき、就学すべき学校を指定しています。

質問 市庁舎が2つに分かれていて不便、新庁舎建設の見通しは。

総務部長 現庁舎の抱える課題、新庁舎整備の基本的な方針について検討を進めており、財政状況により建設時期を判断します。

質問 合併10年、市長の今後の施策は。

市長 眠れる資源や眠れる人材を目覚めさせ、生き返らせ、蘇らせて、市民の皆さんと協働し、蘇活力によるまちづくりを行い、各地域に応じた施策に取り組みます。



空き家の現状と対策、貧困の連鎖

田邊 寛治 議員

質問 空き家の現状と今後の対策。

総務部長 自治会調査（回答率99%）による空き家件数は1388件でした。今後は法、条例に基づき対策を推進していきます。

質問 自治会の役割と対応は。

総務部長 空き家等の情報を市と共有し、地域の空き家情報の提供をお願いしたいと考えています。

質問 貧困（子ども、高齢者）の住居対策と若い世代の定住化、少子化対策のための空き家利活用は。

総務部長 宅地建物取引業協会の協力による利活用に加え、空家対策庁内検討委員会において、効果ある事業を全庁的に検討します。

質問 貧困から派生する教育格差をなくすための子どもの学習支援に対する市の取り組み方は。

教育長 すべての子どもに等しく学力が身につくように、授業の充実と連携し取り組みを考えていきます。

質問 行政の関わり方は。

商工観光部長 中心市街地活性化プランに基づき、国の交付金を活用し空き店舗解消に取り組みます。

質問 「空き店舗対策特別委員会」の役割と進捗状況は。

商工観光部長 駅前通りの空き店舗を解消し、賑わい創出のため意見を聞くとともに、市と連携して取り組んでいただいています。

質問 駅前周辺整備の現状と今後。

商工観光部長 駅前周辺の民間所有地2カ所を駐車場として活用するため、土地所有者と貸借期間など具体的な調整を行っています。



空き店舗対策のしづさん

一般質問



現在の渋川 これからの渋川？



2020東京オリパラについて
今成 信司 議員

質問 当市で開催できる競技種目はあるか。また事前トレーニング候補地として検討しているか。

企画部長 開催地の募集を行わないため開催はありません。また隣接市町村と連携して、事前トレーニング地の誘致を検討しています。

質問 すでに遅れているが、今回の五輪開催において、市を売り出していくための戦略は。

企画部長 隣接市町村との連携により、それぞれの持つ施設や観光資源を活用した誘客や、観光PRなどを研究しています。

質問 市のおもてなしを再度整理し、挑戦してほしいが見解を。

商工観光部長 各旅館でもてなし研修を行っているので、自ら実践できる研修として、お客さまを温かく迎えるよう努めていきたい。

赤線道・青線水路について

質問 3万筆ほどだが、国、県から贈与された経緯は。

建設部長 地方分権推進を目的として国、県から赤線、青線等の法定外公共物が市へ譲与されました。

質問 現時点においての問題及び今後の方向性は。

建設部長 境界未確定の法定外公共物が多く、個人が使用していた所が道路、水路だと判明する場合があります。今後は占用状況実態調査の実施も検討したいが、膨大な筆数があるため難しい問題です。

質問 平等かつ市民の利益を損なうことのない行政作業はできるか。

建設部長 道路、水路の無断利用の対応については、事実が確認できた時点で市民に不公平感を持たれないよう対応していきます。



安心・安全なまちづくり
安力川 信之 議員

渋川駅東西連絡橋に自動改札を

質問 病院跡地に複合施設が計画されている。利便性向上のため東口を設置して活性化を。

企画部長 渋川駅周辺の活性化は、駅前商店街の振興や病院跡地利用との施策連携で、高い効果を期待できます。病院跡地に専門学校が誘致されると駅の東側に多くの人の流れができ、改札口の設置で利便性が向上するものと考え、JR東日本高崎支社と協議しています。

防災対策の充実を

質問 分かりやすい防災マニュアル、ハザードマップの作成や防災備蓄品の在庫管理の見える化を。

総務部長 新しいハザードマップは、用紙の拡大、避難基準の掲載等分かりやすい内容とします。

防災備蓄品の状況は、食料品のみ公開していますが、資機材についても公開に向けて取り組みます。

AEDで命を救え

質問 24時間営業しているコンビニにAEDを設置すべき。また徘徊認知症対策で、顔写真などを送

信する新たなシステムの考えは。

保健福祉部長 県内においてコンビニと設置協定を結んでいる自治体はありませんが、県外でコンビニとAED設置協定を結んでいる自治体があるので、どのような方法が良いかを含め、企業の情報を基に検討を行います。

徘徊認知症高齢者対策では、群馬県警メールに画像添付を検討していること聞いています。顔写真等の事前登録の仕組みと併せて、渋川ほつとマップメールに画像を添付し配信する検討を行います。



渋川駅東西連絡橋